



SUMMIT
ONLINE
JAPAN

革新的な機能を備えた VMware Cloud on AWS

導入のメリットと最新アップデートのご紹介

Rie Arai
Senior Project Manager, Cloud
Service Business, Solution Business

A circular progress indicator with a blue ring, showing 78% completion. The number '78%' is centered in blue.

78%

**アプリのポートフォリオ拡大は
ビジネスの最優先事項である**
Improving application portfolio is a TOP priority

A circular progress indicator with a green ring, showing 48% completion. The number '48%' is centered in green.

48%

昨年はアプリの改善を行っていない
Have NOT made improvements in the last year

アプリのニーズによって左右されるクラウドの戦略と方向付け

クラウド戦略は個々のアプリケーションのニーズに対応する必要がある

従来型のアプリケーション

コスト削減 | セキュリティ | 信頼性 | 管理



維持



クラウド移行



ハイブリッド



リファクタリング



新規開発



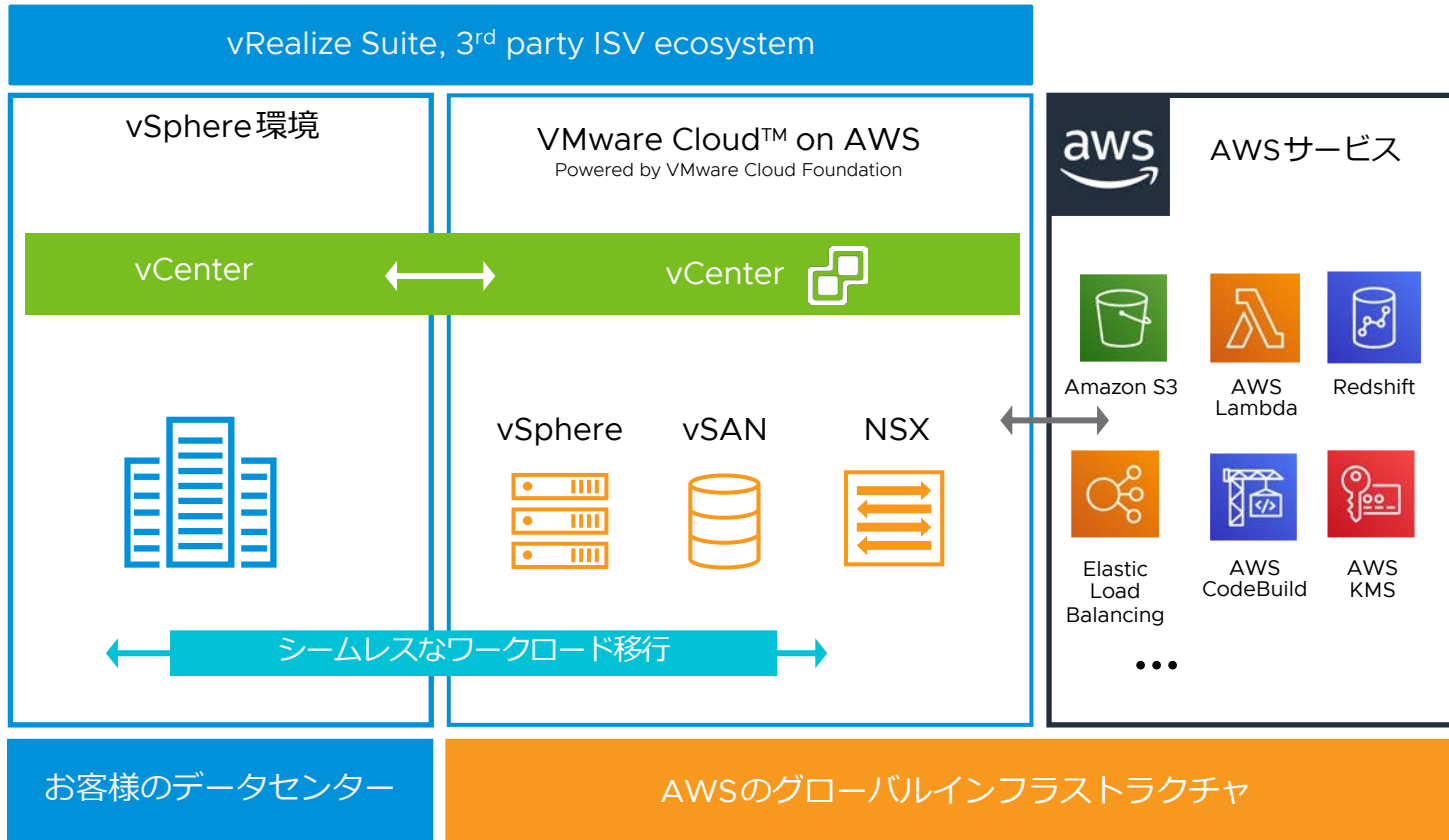
置き換え

Lift & Shift

Cloud Native

VMware Cloud on AWS :

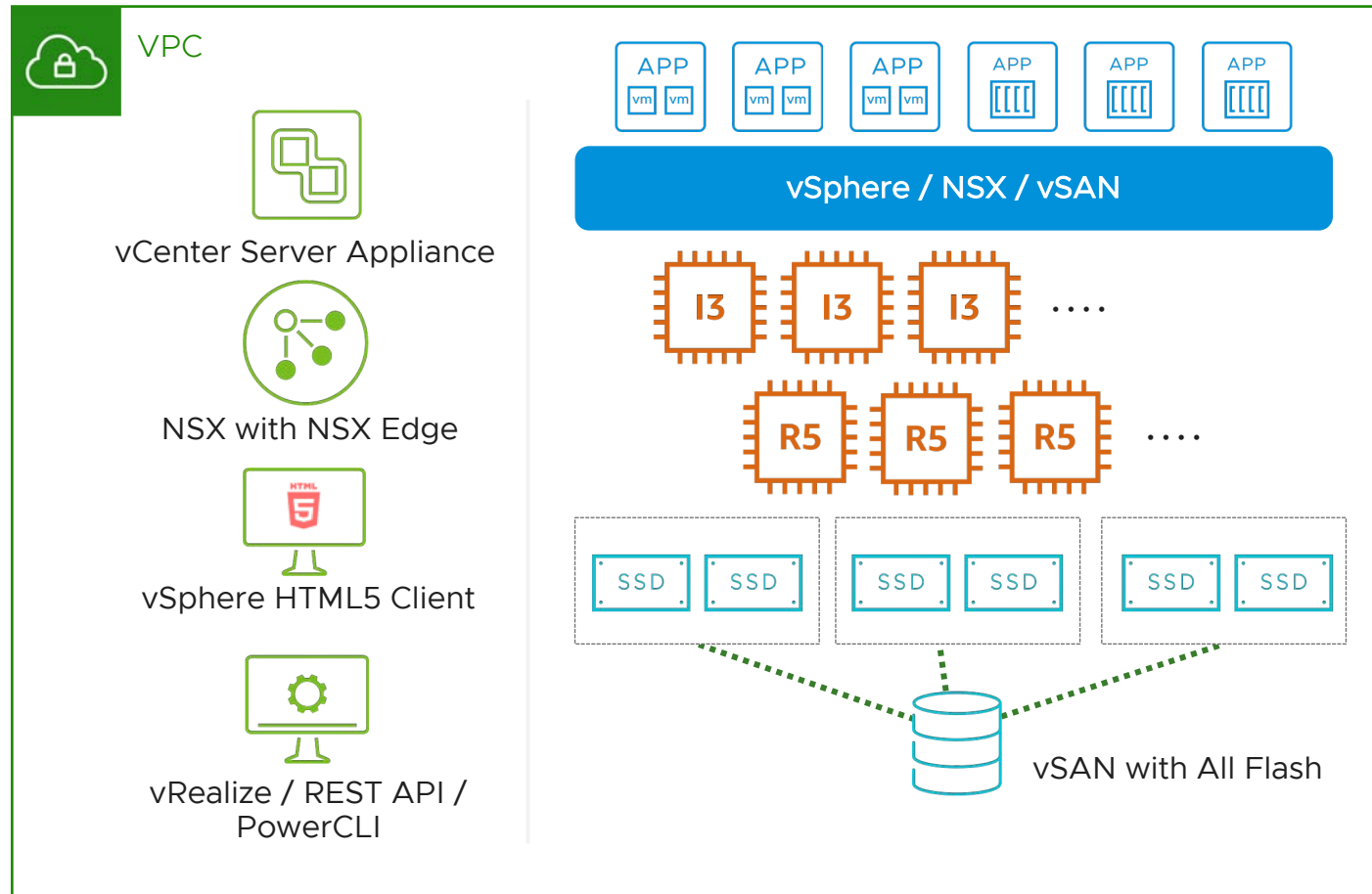
VMwareとAWSが共同で開発したクラウドサービス



ハイライト

- VMware と AWS が共同開発した IaaS
- AWS ベアメタル HW と VMware の SW を融合
- AWS のネイティブ サービスへの直接アクセス
- ワークロードのシームレスかつ迅速な移行
- VMware が販売、運用、サポートを提供
- オンデマンドのキャパシティと柔軟な利用
- オンプレミスとクラウドの完全な運用の一貫性
- パートナーエコシステムとの連携

ベアメタル HWにインプリされたVMware SDDC



シングルテナント(占有型)のベアメタルな
Amazon EC2 ハードウェア上にVPCとして展開

- VMW-AWS両社によって共同設計された占有型のベアメタル基盤を利用
 - Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) i3/R5メタルインスタンス
 - All Flash構成のストレージ (i3/10.2TB)
 - 25 Gbps の Elastic Network Adapter
- 最新のVMware ソフトウェアを採用
- vSphere HTML5 Web Clientに加え、vRealizeやPowerCLI, REST API 経由での管理性も提供
- 柔軟な接続形態を選択可能
 - スタンドアロンなクラウド
 - オンプレミス – VMC
 - VMC – 既存の Amazon VPC

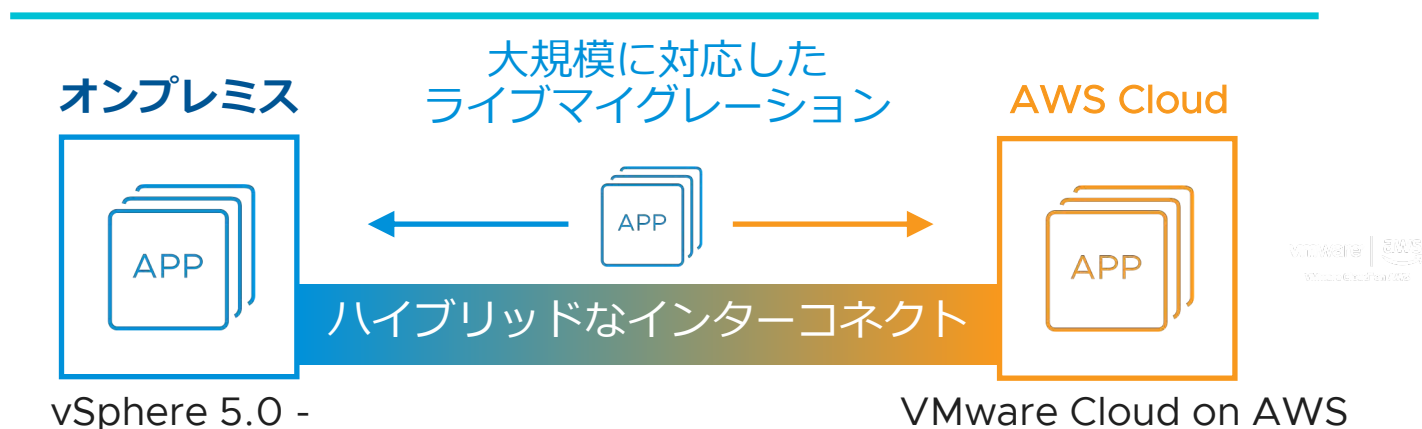
クラウド移行を強力にサポートするVMware HCX



Any-to-AnyのvSphereマイグレーション

- オンプレミス - オンプレミス
- オンプレミス - VMware Cloud on AWS (VMC)
- VMC - VMC

- vSphereベースのワークロード移行を強力にサポート
- vSphereのバージョン差異を吸収する互換性
- 拠点間をハイブリッドに繋ぐL2延伸ネットワーク
- vSphere Replicationを活用したCloud Motionで1,000台規模の仮想マシン移行をオンラインで実行可能
- 様々なユースケースに対応
 - データセンタ統廃合
 - データセンタ拡張
 - データセンタ更新

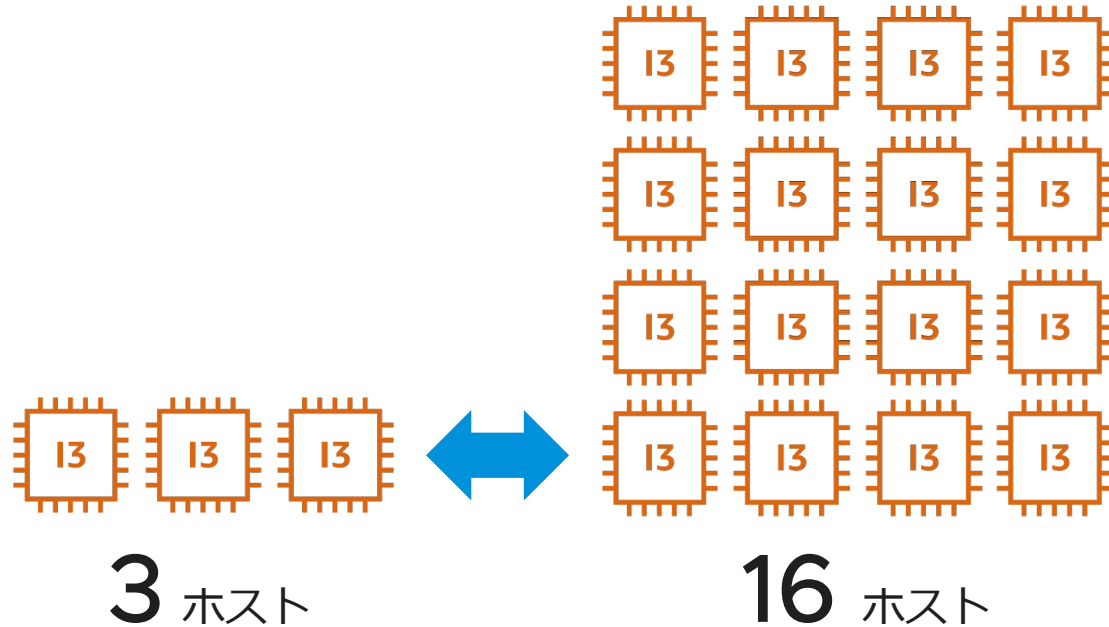


バージョン互換性

可搬性

セキュリティ

お客様のニーズに柔軟に対応する拡張性



vm VMware Cloud on AWS

< Elastic DRS の設定 : VMC-SET-JP-TOKYO-16 : キャパシティ : CI

Elastic DRS を使用すると、最適な数のホストをパワーオン状態で維持することができます。これにより、クラスタの使用率が高いまま、必要

パフォーマンスを最大にするための最適化

クラスタの使用状況に基づいてホストをすばやく追加し、また時間をかけてホストを削除することでパフォーマンスを最大にします。

最小クラスタ サイズ:

最大クラスタ サイズ:

コストを最小にするための最適化

クラスタの使用状況に基づいて、すばやくホストを削除し、また時間をかけてホストを追加することで継続的にコストを削減します。

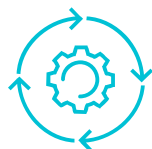
最小クラスタ サイズ:

最大クラスタ サイズ:

保存 キャンセル

Elastic DRSによるオートスケーリングも可能

あらゆる面でコスト効率を最大化



リファクタリング不要

従来1年以上掛かっていた移行期間を月単位に短縮し、かつ従来比69%のコスト削減が可能^{*1}



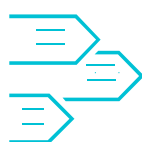
既存アセット・技術の利活用

運用・トレーニングに係る費用を最大71%削減^{*2}



極めて高い柔軟性

シームレスかつ無停止でワークロードの配置を変更することが可能



効率的な運用

ITチームの運用を47%効率化して、スタッフの価値を最大化^{*1}

Maximum Flexibility

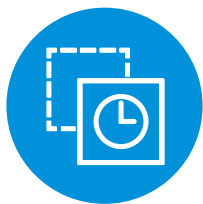
“VMware Cloud on AWSを使用することで、オンプレミスアーキテクチャがもたらすパフォーマンスと自律性、および移行、メンテナンス、その後の管理に関するすべての関連するメリットを再発見しました。

今日では、サービスを中断することなく、データセンターからクラウドに、またはその逆に、オンプレミスで使用していた方法で、すぐにワークロードを移行できます。これはパブリッククラウドでは不可能なことです。”

IVAN MONTI,
HEAD OF ICT INFRASTRUCTURE AND
OPERATIONS, ANSALDO ENERGIA

1. IDC White Paper, sponsored by VMware, The Business Value of Hybrid Cloud with VMware, 2019
2. IDC White Paper, sponsored by Dell EMC, Benefits of the Consistent Hybrid Cloud: A Total Cost of Ownership Analysis of the Dell Technologies Cloud, 2019; VMware analysis

普通のパブリッククラウドとは一線を画す差別化ポイント



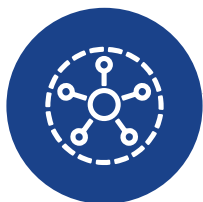
迅速かつコスト効率性の高い、リスクの少ない移行

- アプリのリファクタリングが不要
- インフラストラクチャ側の設定変更が不要
- ゼロダウンタイムかつ大規模並列な移行
- シンプルで分かりやすい移行ワークフロー



一貫性のあるインフラストラクチャと運用を兼ね備えたハイブリッドクラウド

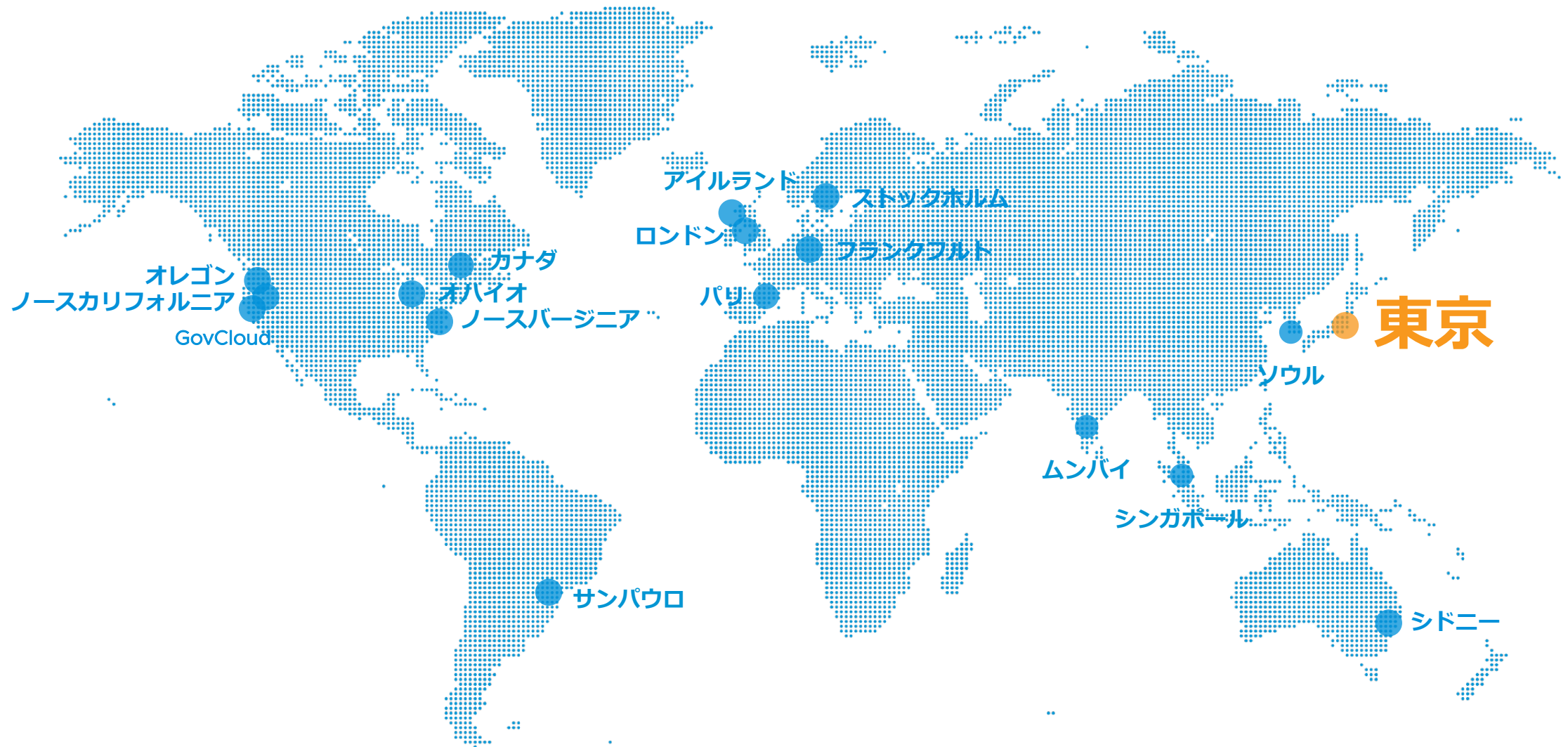
- オンプレミスと同等のvSphere環境
- 使い慣れた単一の管理ツールによる運用
- WAN最適化を備えたセキュアで柔軟なL2ネットワーク
- 広範に渡るパートナーエコシステムとの連携



エンタープライズグレードの高い可用性と最適化

- 予測可能な高性能コンピューティング
- 弾力性に富んだポリシー駆動型のリソース管理
- ポイシー駆動型のエンタープライズストレージ
- 仮想マシンからAZまでカバーする組み込み型の復元力
- エンタープライズグレードのL2 & L3ネットワーク

17のAWSリージョンでサービスを提供



主要なコンプライアンス規制・基準にも対応



ISO 27001, 27017, 27018



SOC 1, SOC 2, SOC 3



GDPR compliance



HIPAA BAA



CSA STAR Self-Assessment



金融情報システムセンター
安全対策基準ガイドライン

利用期間/用途に合わせた柔軟な料金体系

課金体系 (ホスト単位)



オンデマンド
一時間単位



1年・3年一括前払型
サブスクリプション



アドオン
サービスの購入

※データ転送料は、別途 従量制課金

購入方法

(MyVMware + Cloud Service ポータル)



包括契約による
専用クレジット^{*1} 購入



クレジットカードに
よるお支払い
※事前デポジット制

- 1時間単位のオンデマンド課金の他、お得な一括前払い型サブスクリプション (1年、3年のみ)
- その他、災害対策用サービス等のアドオンサービス
- 利用予定サービスのMSRP^{*2} 総額分を専用クレジットにて事前購入
 - 専用クレジットご購入後は、対象サービス利用ごとに都度、専用クレジットから引き落とし
- クレジットカード
 - 事前デポジット制 (初回 \$2,000 相当)



- 新規 SDDC 作成時間：平均 約65分
- 新規 ホスト追加時間：平均 約12分

国内販売パートナー

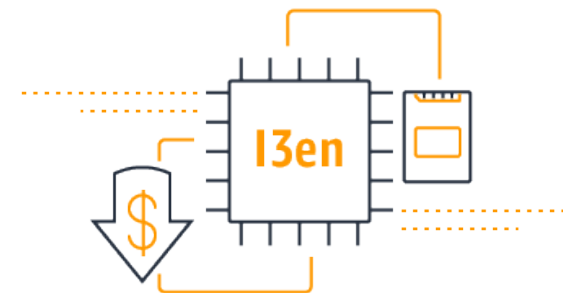
VMware の Managed Service Provider (MSP) :
VMware Cloud on AWS に独自の価値を付加し、自社サービスとして提供



最新アップデート

新たに i3en.metal インスタンスが利用可能に*1

New!



こんな用途に オススメ

ストレージ容量のニーズが高く、且つトランザクション率が高いワークロード

- NoSQL データベース
- 分散ファイルシステム
- ランダム I/O が多いDWH

計算資源

CPU タイプ	2nd generation Intel® Xeon® Scalable Processor
CPU コア	48 Cores @ 2.5Ghz Hyperthreading enabled by default -> 96 logical cores

メモリ

RAM	768 GiB
-----	---------

ストレージ

ドライブ	vSAN with Local NVMe SSD (checksum only)
データ容量	~45 TiB (raw capacity)

ネットワーク

ワイヤスピード	暗号化対応の 25 Gbps NIC
---------	--------------------

従来の i3.metal インスタンス比 :

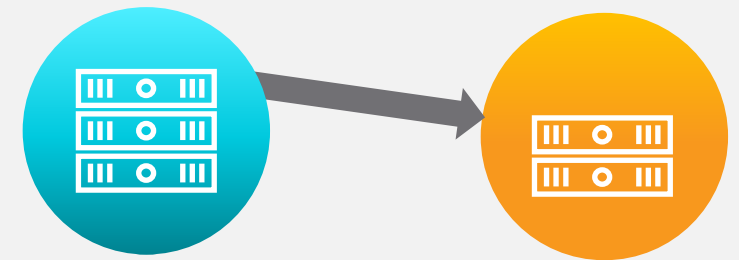
- 1.3倍のCPU処理能力
- 1.5倍のRAM容量
- 最大3.4倍のストレージ容量
- ネイティブなネットワーク暗号化機能により、SDDC境界内のEast-West通信がよりセキュアに

2ホスト構成をサポート

New!

- 永続的な環境の最小クラスタサイズ要件を緩和
- SLAを付帯した、本番環境に対応可能な2ホスト構成の i3.metal インスタンス (AWS GovCloudを除く)
- RAID-1およびFTT 1のストレージポリシーで稼働
- 3+ホストからの2ホストへの縮小は未サポート
- 詳細については下記ブログを参照：
<https://cloud.vmware.com/community/2020/05/11/vmware-cloud-aws-2-host-cluster-capability-now-preview/>

ホスト数の最小要件を2ホストに

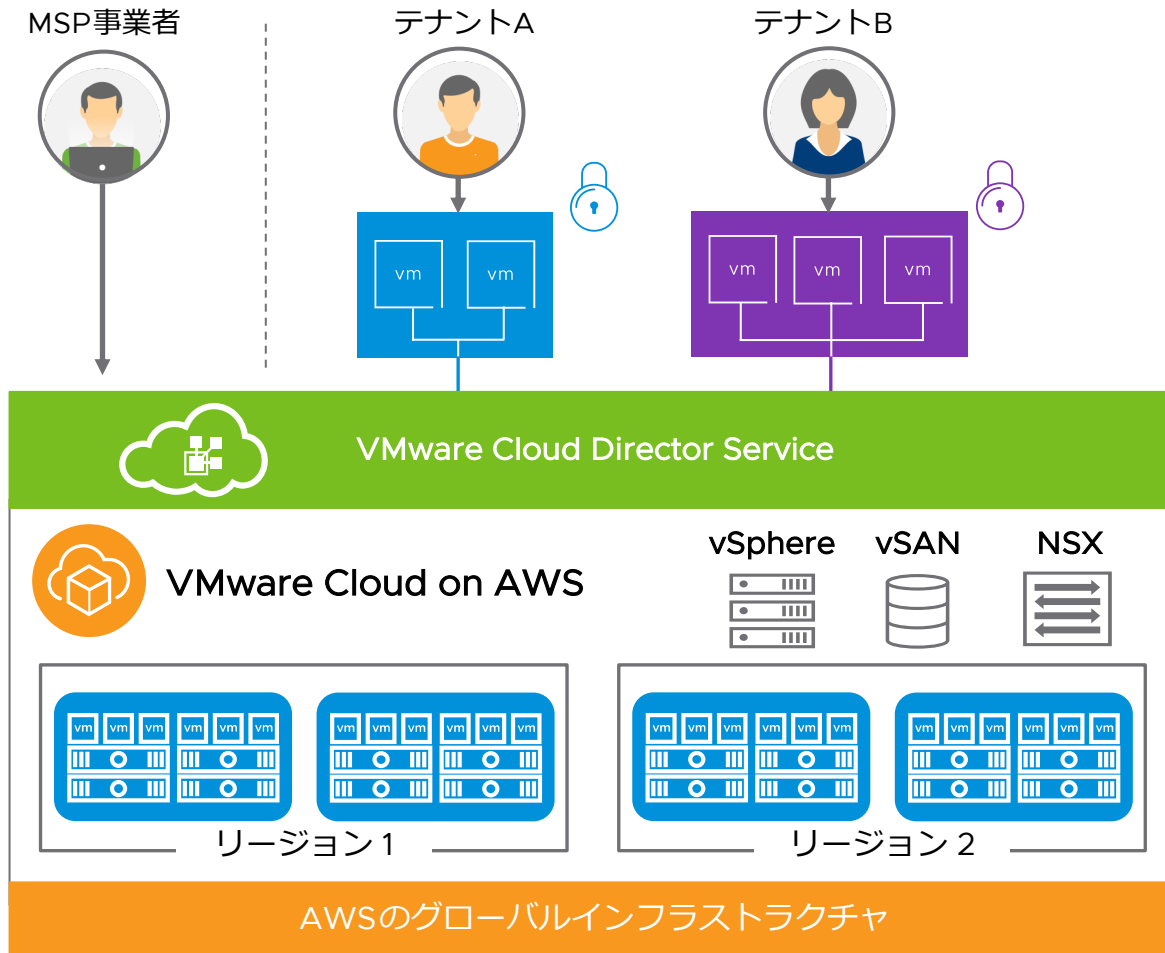


従来比 - **33%** のコストで
VMware Cloud on AWS
が利用可能に

VMware Cloud Director Service

Multi-tenancy for Managed Service Providers (MSP)

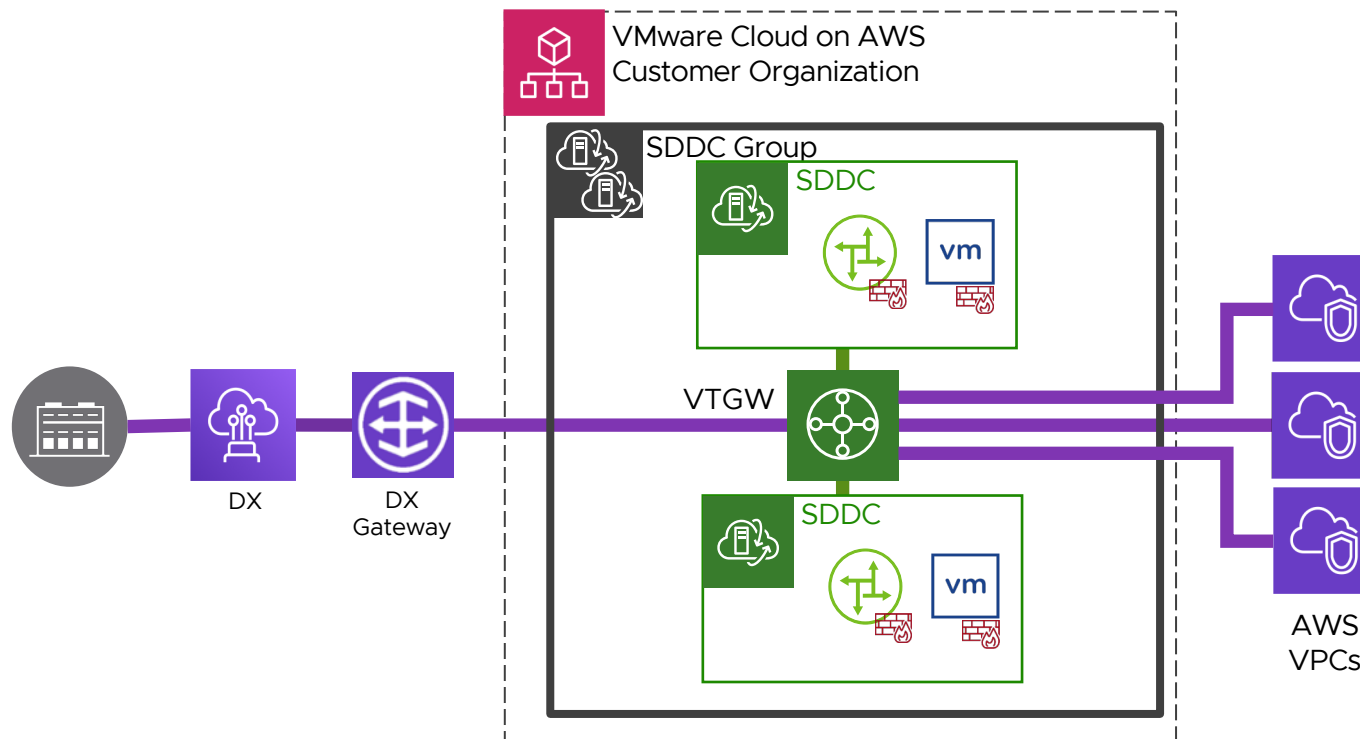
Initially Available
In North America



- VMware Cloud on AWSのインスタンスを共有し、中堅企業を始めとする幅広い顧客ニーズに対応
- VMware vCloud Director をベースとした、セキュアで使いやすいマルチテナント構成
- MSP事業者毎の独自サービスとのシームレスな連携により、利用者への提供価値を最大化

VMware Transit Connect™

Simplifying connectivity at scale



高帯域幅、低遅延、復元力の高い接続性：

AWS Transit Gatewayをベースとした可用性の高いソリューション。オンプレミスのデータセンターからAWS Direct Connect Gateway を経由した拡張性、柔軟性の高いネットワーク接続を実現

VMware-Managed:

AWS Cloud on AWS環境とAWS VPCおよびオンプレミスのファブリック構成に係る構築と管理のオーバーヘッドを排除

簡素化・自動化されたプロビジョニング:

シンプルかつユーザ透過的なプロビジョニングにより、接続に必要なすべてのルーティングポリシーを自動的に設定

Scalable design:

VMware Cloud on AWS上のSDDCグループの増減に合わせて、自動的にオンプレミスやVPCとの接続性を適切な状況に確立

様々なユースケースに対応

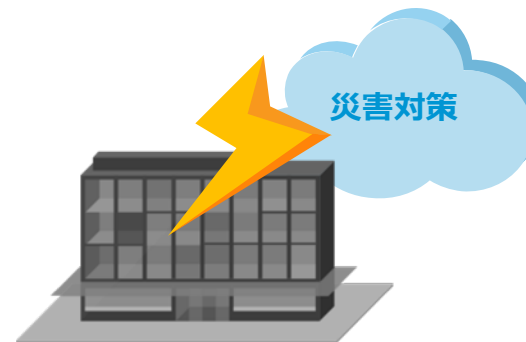
クラウドへの移行



データセンターの拡張



災害対策



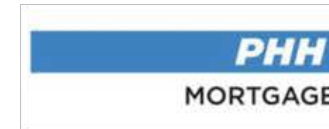
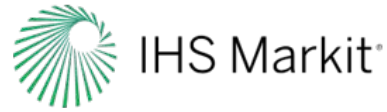
次世代アプリ



お客様のニーズや状況に応じてフレキシブルにご利用頂くことが可能

VMware Cloud on AWS Customers

Across various industries and segments



Business Demand and Challenges

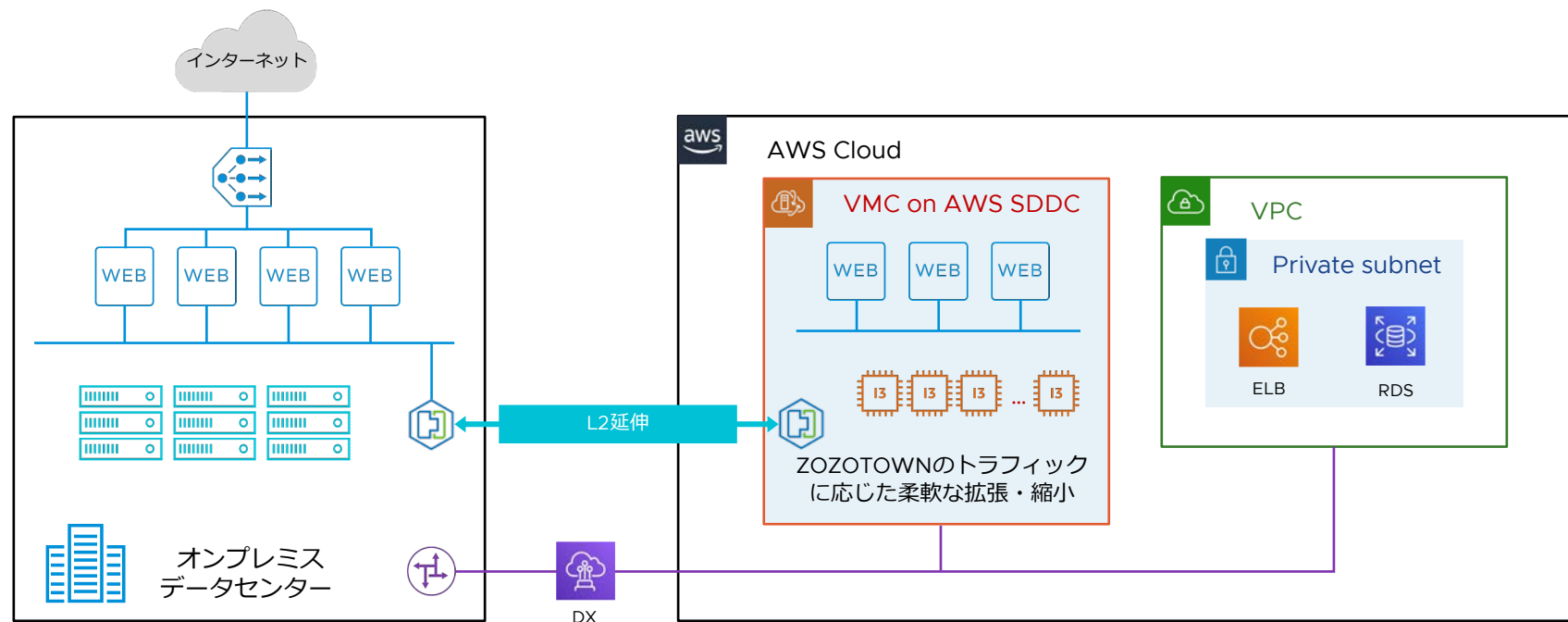
- ZOZOTOWNのサービスの成長に合わせたオンプレミスの増強方法
- ピーク時に合わせた設計・購買による非効率的なリソース活用と投資
- 物理サーバの故障対応、運用保守に掛かる人的コスト

Why VMware Cloud on AWS?

- L2延伸により、現行環境をシンプルにクラウドに拡張
- ZOZOTOWNのトラフィックに合わせて、100ホスト規模まで環境を拡張
- 既存のインフラ、アプリへの投資を活用しつつ、将来的な変化にも柔軟に対応

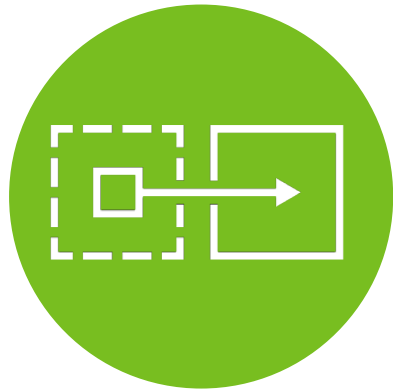
<100

ZOZOTOWNのトラフィックに応じて約100台まで拡張



VMware Cloud on AWSの提供価値

業界標準となった技術と世界で最も使われているクラウドサービスの融合



シームレスな移行

コスト効率性の高い迅速で安全なクラウド移行



As-a-Service

AWS上で使えるVMware SDDC



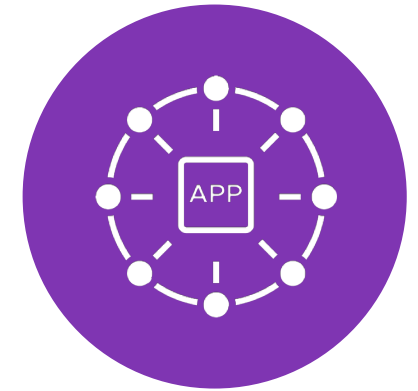
一貫性

一貫性のある慣れ親しんだVMwareのテクノロジー



可搬性

ハイブリッドな構成とシンプルな可搬性

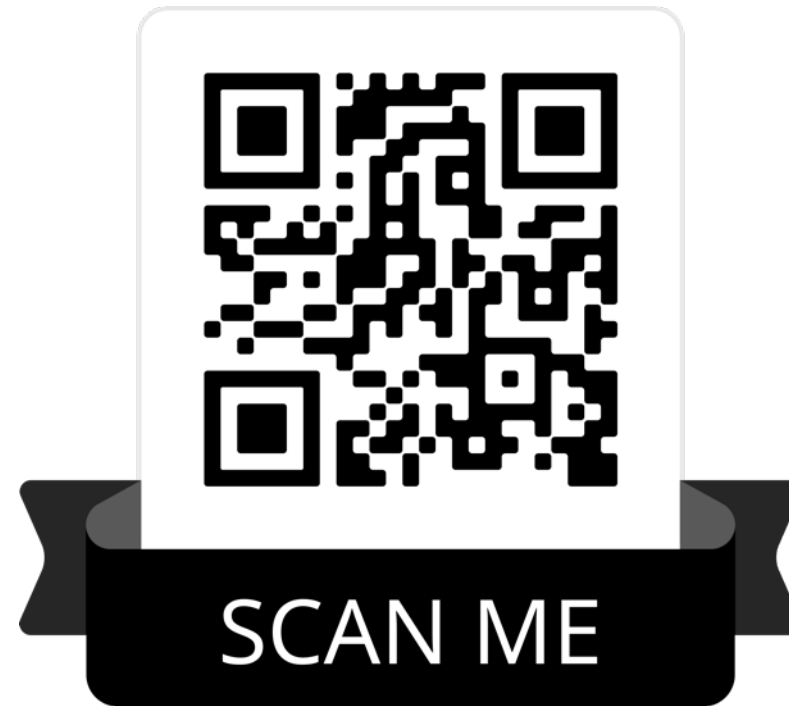


モダンアプリ

仮想マシン、コンテナ、Kubernetesと、ネイティブのAWSサービスとの連携

Get Started Now with VMware Cloud on AWS !!!

Buy Now and start your hybrid cloud journey!



<http://www.vmw.re/vmc-getting-started>



Thank you!

VMware Cloud on AWS is here :

cloud.vmware.com/jp/vmc-aws

@vmwarecloudaws #VMWonAWS

Thank you!